

1. 出願資格

一般入試

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者

社会人入試

次の(1)～(9)のいずれかに該当し、大学院入学時までに通算2年間以上の社会経験（民間企業、官公庁、学校教育機関、自営業、家事、ボランティア活動などの経験。ただし、研究生および大学院学生としての期間は含みません。）を有する者

- (1) 日本の大学を卒業した者又は2019年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項第1号の規定より学士の学位を授与された者又は2019年3月31日までに授与される見込みの者【注1】
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は2019年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2019年3月31日までに修了見込みの者【注2】
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2019年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2019年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2019年3月31日までに22歳に達した者【注3】

【注1】 (2) について短期大学及び高等専門学校の特攻科を2019年3月31日までに修了見込みであり、かつ、学位授与機構から学士の学位が授与される見込みである者は、文系教務課内 人文学研究科入試担当あて照会してください。

【注2】 出願資格の(4)に該当する者は、p.25を参照し、文系教務課内 人文学研究科入試担当あてに2018年11月22日（木）必着で必要書類を提出してください。

【注3】 (9)により出願しようとする者は、p.25を参照し、文系教務課内 人文学研究科入試担当あてに2018年11月22日（木）必着で必要書類を提出してください。

2. 専攻及び募集人員

専攻	プログラム	コース	分野・専門	募集人員
人文学 専攻	言語文化系学位 プログラム	文芸言語学 コース	言語学, 日本語学, 日本文学, 英語学, 英米文学, ドイツ語ドイツ文学, フランス語フランス文学, 中国語中国文学, 日本語教育学, 英語教育学, 応用日本語学	104名
		哲学倫理学 コース	哲学, 西洋古典学, 中国哲学, インド哲学	
	歴史文化系学位 プログラム	歴史学・人類学 コース	日本史学, 東洋史学, 西洋史学, 美学美術史学, 考古学, 文化人類学	
		総合文化学 コース	映像学, 日本文化学, 文化動態学, ジェンダー学	
	英語高度専門職業人 学位プログラム	英語高度専門 職業人コース		
多文化共生系学位 プログラム	国際・地域共生 促進コース			

※第1期試験及び第2期試験を合わせた募集人員は、一般入試及び社会人入試を含めて104名です。

※フランス語フランス文学は、フランス語フランス文学（第1）、フランス語フランス文学（第2）があり、別々に試験を行います。この分野・専門の詳細については、人文学研究科ホームページを参照してください。

3. 願書受付期間

**2018年12月20日（木）から12月21日（金）まで、
12月25日（火）から12月27日（木）まで**とします。

持参の場合	受付時間は午前9時から正午まで、午後1時から午後4時までとします。
郵送の場合	封筒の表に「大学院人文学研究科博士前期課程入試出願書類在中」と朱書きして、必ず書留郵便とし、期間内〔12月27日（木）午後4時まで〕に到着するよう送付してください。期間後到着分は受理しませんので注意してください。また、出願受付期間に提出された4. 出願書類等に不備がある場合、受理しません。

〔注〕メールでの出願はできません。

出願書類の提出先（郵送先）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-4(700)

名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

4. 出願書類等

入学志願票等の所定用紙は、以下の人文学研究科ウェブサイトからダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入してください。 (<http://www.hum.nagoya-u.ac.jp/examination/examination-sub4/>)
所定用紙を印刷できない場合は、文系教務課内 人文学研究科入試担当までご相談ください。

(1) 入学志願票, 選択科目チェック表, 履歴書, 受験票, 写真票, 領収証書・領収証書 (控)

所定の様式をA4判用紙に片面印刷のうえ記入し、提出してください。

(2) 卒業 (見込み) 証明書又は学位 (取得見込み) 証明書

- ・証明書は必ず原本を提出してください。コピーは受付しません。(証明書の原本を提出できない場合は、発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。)
- ・名古屋大学文学部卒業者又は卒業見込者は不要です。
- ・氏名変更等により、証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合、それを証明できる書類を併せて提出してください。

注：中国の大学卒業者は「(2) 卒業 (見込み) 証明書又は学位 (取得見込み) 証明書」に関して出願期間の約1ヶ月前 (11月中旬) までに必ず手続きしてください。

※ 中国の大学卒業者は、2018年11月中旬までに中国政府直轄の財団である「中国教育部学位与研究生教育发展中心 (CDGDC)」へ認証書の発行申請をしてください。

提出書類： CDGDCが認証した「認証報告」(各自でA4判に印刷したもの)

入学志願票にCDGDC認証の「验证编码」を記入してください。

締 切： 2018年12月27日 (木) 午後4時

手続きの詳細は、CDGDC ホームページ (<http://www.cdgdc.cn/>) で確認してください。

- <注意>**
- ・この手続き以外の認証書は受理しません。
 - ・名古屋大学に在籍している研究生及び大学院研究生、在籍した研究生及び大学院研究生もCDGDCが認証した「認証報告」を提出してください。

(3) 成績証明書

- ・証明書は必ず原本を提出してください。コピーは受付しません。(証明書の原本を提出できない場合は、発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。)
- ・証明書は大学学部以上の全学期の成績 (大学に編入学している場合は、編入学前の大学等も含む) が記載されたものを提出してください。
- ・名古屋大学文学部卒業者又は卒業見込者は不要です。
- ・氏名変更等により、証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合、それを証明できる書類を併せて提出してください。

(4) 研究計画書

A4判横書に日本語又は英語で記入してください。参考文献の一覧表を付ける場合、その一覧表は以下の字数制限に含まれません。

	プログラム	記載条件
一般入試	言語文化系学位プログラム 及び 歴史文化系学位プログラム	「入学後の研究計画」を、日本語2,000字以内又は英語800語以内で記述してください。
	英語高度専門職業人学位プログラム	
	多文化共生系学位プログラム	
社会人入試	言語文化系学位プログラム 及び 歴史文化系学位プログラム	「入学後の研究計画」を、日本語4,000字以内又は英語1,600語以内で記述してください。
	英語高度専門職業人学位プログラム	「入学後の研究計画」を日本語2,000字以内又は英語800語以内で記述してください。さらに、「社会人としての勤務・活動内容」に関する報告書を日本語1,000字以内又は英語400語以内で記述してください。
	多文化共生系学位プログラム	「入学後の研究計画」（日本語2,000字以内又は英語800語以内）と、「修了後の進路計画」（日本語1,000字以内又は英語400語以内）を記述してください。

(5) 志望分野・専門の論文等

提出は任意です。以下①～③のいずれかがある場合には提出してください。

①すでに卒業論文を提出している場合はその写し	2部
②卒業論文に準じる論文があればその写し	
③現在作成中の卒業論文の要旨（日本語4,000字程度又は英語1,600語程度、A4判横書）	

〔注〕 1) ①～③について、日本語又は英語以外の言語を使用している場合及び使用する予定がある場合には、あらかじめ以下の連絡先まで志望分野・専門を明記の上、問い合わせてください。

連絡先

名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

e-mail: hum@adm.nagoya-u.ac.jp

2) 提出論文は口述試験の際に返却します。なお、欠席者は2019年3月29日までに文系教務課内 人文学研究科入試担当で受領してください。受領しない場合は当方で処分します。

(6) 外国語検定試験・日本語能力試験の成績通知書の写し

提出は任意です。

(7) 入学検定料 30,000 円

- ・必ず郵便局で 30,000 円の普通為替を作成し、**記入欄には何も記入せず**提出してください。
- ・国費外国人留学生は入学検定料を必要としません。他大学から受験する国費外国人留学生は、国費外国人留学生であることの証明書を提出してください。
- ・海外在住者は、クレジットカード決済で検定料を納入することができます。出願前に文系教務課内 人文学研究科入試担当 (hum@adm.nagoya-u.ac.jp) まで連絡してください。

(8) 学位授与証明書

出願資格 (2) の該当者は、学位授与機構が証明したものを提出してください。

(9) 受験票送付用封筒 (市販の封筒をご用意ください)

長形 3 号 (23.5cm×12cm) の封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名、を明記し、362 円分の切手を貼ったものを提出してください。(ただし、日本国内への送付を希望する場合に限りです。日本国外への送付を希望する場合や日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券 11 枚を同封してください。)

(10) 合否通知送付用封筒 (市販の封筒をご用意ください)

角形 2 号 (33.2cm×24cm) の封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名、を明記し、420 円分の切手を貼ったものを提出してください。(ただし、日本国内への送付を希望する場合に限りです。日本国外への送付を希望する場合や日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券 11 枚を同封してください。)

(11) (外国人のみ) 住民票の写し (コピー不可・在留資格の記載のあるもの)

- ・日本国内に在住する外国人は、**在留資格、在留期間、在留期間満了日**が記載された**個人番号 (マイナンバー) の記載のない**「住民票の写し」(発行日から 3ヶ月以内のもの)を市区町村役場で取得し提出してください。
- ・日本国外に在住する外国人は**パスポートのコピー**を提出してください。
- ・出願書類等には、これらの証明書等に記載された氏名を用いてください。

(12) あて名シート

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷のうえ記入し、提出してください。

(13) 出願書類チェック表

所定の様式を A4 判用紙に片面印刷のうえ記入し、提出してください。

5. 障がいのある者等の出願

障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ文系教務課内 人文学研究科入試担当と相談してください。

(1) 相談の時期

2018年11月22日(木) 午後4時まで

(2) 相談方法

以下の①及び②を提出してください。①及び②以外に適宜書類を添付してもかまいません。

提出書類	注意事項
①障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を具体的に記載したもの	A4判横書で様式は自由です。
②障がい等に関する医師の診断書	受診日から3ヶ月以内のもの。写しでも可。

(3) 連絡先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-4(700)

名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

Email hum@adm.nagoya-u.ac.jp

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、出願期間終了日時までにお問い合わせください。

6. 選抜方法

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類審査及び学力試験により行います。また、学力試験は学位プログラム毎に一般入試及び社会人入試に分けて行います。

(2) 学力試験

①学力試験の日程(一般入試)

	プログラム	試験日	時間	試験科目	
一般入試	言語文化系学位プログラム 及び 歴史文化系学位プログラム	2019年2月13日(水)	10:00~11:00	外国語試験	
			13:00~15:00	専門試験	
	英語高度専門職業人学位プログラム	2019年2月14日(木)	2月13日(水)に、 書面および口頭で 指定します。		口述試験
			2019年2月13日(水)	13:00~15:00	専門英語試験
	多文化共生系学位プログラム	2019年2月13日(水)	2月13日(水)に、 書面および口頭で 指定します。		口述試験
			2019年2月14日(木)	2月13日(水)に、 書面および口頭で 指定します。	
		2019年2月13日(水)	10:00~11:00	外国語試験	
			13:00~15:00	専門試験	
	2019年2月14日(木)	2月13日(水)に、 書面および口頭で 指定します。		口述試験	

②試験科目（一般入試）

一般入試	筆記試験〔注〕		口述試験
	外国語試験	専門試験	
	詳細は、p. 21 からの 2019 年度人文学研究科博士前期課程【一般入試】試験科目をよく読んでください。		1. 提出書類・筆記試験に関する試問 2. 博士前期課程において研究を遂行するにあたり必要な専門基礎知識、研究能力等に関する試問

〔注〕 英語高度専門職業人学位プログラムは、専門英語試験を行います。詳細は、p. 24 の 2019 年度人文学研究科博士前期課程【一般入試】試験科目をよく読んでください。

③学力試験の日程（社会人入試）

	プログラム	試験日	時間	試験科目
社会人入試	言語文化系学位プログラム	2019年2月13日（水）	13:00～15:00	専門試験
	及び 歴史文化系学位プログラム	2019年2月14日（木）	2月13日（水）に、 書面および口頭で 指定します。	口述試験
	英語高度専門職業人 学位プログラム	2019年2月13日（水）	13:00～15:00	専門英語試験
		2019年2月14日（木）	2月13日（水）に、 書面および口頭で 指定します。	口述試験
	多文化共生系学位 プログラム	2019年2月13日（水）	13:00～15:00	専門試験
		2019年2月14日（木）	2月13日（水）に、 書面および口頭で 指定します。	口述試験

④試験科目（社会人入試）

社会人入試	筆記試験〔注〕		口述試験
	専門試験		
	詳細は、p. 21 からの 2019 年度人文学研究科博士前期課程【社会人入試】試験科目をよく読んでください。		1. 提出書類・筆記試験に関する試問 2. 博士前期課程において研究を遂行するにあたり必要な専門基礎知識、研究能力等に関する試問

〔注〕 英語高度専門職業人学位プログラムは、専門英語試験を行います。詳細は、p. 24 の 2019 年度人文学研究科博士前期課程【社会人入試】試験科目をよく読んでください。

(3) 試験会場

名古屋大学経済学部（別紙試験場配置図参照）

試験場の詳細は、試験当日、経済学部玄関に掲示します。

7. 合格者発表

2019年2月22日(金)午前10時頃(予定)に、文学部本館玄関に掲示発表します。また、人文学研究科ホームページ(<http://www.hum.nagoya-u.ac.jp/>)にも発表し、追って郵送により本人あて通知します。ただし、玄関での掲示および人文学研究科ホームページでの発表は受験生の便宜を図るための速報ですので、郵送される合否結果通知により必ず確認してください。

電話・電子メールなどによる合否の問い合わせには一切応じられません。

8. 入学手続

別途通知します。

9. 入学に要する経費

入 学 料	282,000 円	(予定額)
授 業 料	半期分 267,900 円	(予定額)
	(年 額 535,800 円)	(予定額)

なお、入学時又は在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用されます。

[注] 授業料は、春学期及び秋学期の2期に分けて、春学期分は4月に、秋学期分は10月に納入します。

10. その他

- (1) 既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。また、入学検定料の領収証書については、受験票発送時に同封します。
- (2) 願書受付期間内に出願書類が全て揃わない場合は受理しません。
- (3) 受理済みの出願書類は、いかなる理由があっても一切の修正等を認めません。
- (4) 出願書類に虚偽記載があった場合や必要事項を記載しなかった等の場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (5) 試験場へは、試験開始15分前までに到着し係員の指示を受けてください。(筆記試験場の入場開始は9:00を予定しています。)
- (6) 外国語試験及び専門試験(英語高度専門職業人学位プログラムについては専門英語試験)の試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り受験を認めます。
- (7) 名古屋大学では、構内への車両の入構規制を行っていますので、公共交通機関を利用してください。
- (8) 携帯電話、PHS、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末等の電子機器を時計代わりに使用することはできません。
- (9) 住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しません。

分野・専門及びその内容

言語文化系学位プログラム

文芸言語学コース

分野・専門名	内容
言語学	東アジア・東南アジア・中央アジア・ヨーロッパを含む世界の諸言語・個別言語の構造及び機能の精密な観察・分析に基づき、個別言語の特徴、言語間の普遍性と多様性を記述的・理論的観点から明らかにする。また日本語と他言語の対照研究も可能である。
日本語学	多様な日本語資料に基づいて、日本語の歴史・地理・社会的な動態と多様性を言語事実として緻密に観察記述し、その構造的な特質について実証的に追究する。伝統的な日本語学・日本文学研究の蓄積を踏まえつつ、日本語に関わるあらゆる課題に即して最適の方法論と理論的立場を選択する。
日本文学	古代から中世、近世を経て近現代に至る日本文学の諸作品と作家を幅広く研究対象とする。文芸理論と書誌学についての深い理解に基づいた、作品解釈を目指す。
英語学	現代英語及び英語史における言語事実の綿密な観察に基づき、生成文法を中心とする一般言語理論の観点から、英語の共時的研究と通時的研究の有機的な融合を追究することにより、英語及び人間の言語能力の本質に迫ることを目指す。
英米文学	文学批評の歴史と理論を把握して、近代初期から現代にいたる英米文学作品を文献実証的に分析し、そこに見られる時代精神や社会風潮といった言語文化の諸相を解説する。
ドイツ語 ドイツ文学	ドイツ語の言語体系やドイツ語によるテキストを厳密に理解し、分析する力を養いつつ、ドイツ語、ドイツ語圏の文学、文化、芸術を対象にした研究を行う。テキストが生まれた文化的・社会的・歴史的・思想的文脈を視野に入れながら、対象を多面的に捉える研究を目指す。
フランス語 フランス文学 (第1)	中世から現代に至るフランス語圏の文学・思想・文化を、歴史的背景を踏まえながら学び、真に今日的な批評精神を涵養する。フランス語を記述・分析し、一般言語理論や諸学問分野とも関連させて、その言語的特質、生態を探求する。
フランス語 フランス文学 (第2)	16世紀から現代にいたるフランス語圏文学作品を始めとする広義のフランス語テキストを、言語事象に重点をおきつつ分析し、言語文化の諸相を解説する。

分野・専門名	内容
中国語中国文学	古典から現代にいたる中国語の文献を精密に読み解き，理論的・実証的に分析することを基礎とする。その上で，中国文学研究においては，さらに作品表現の背景を解明することを目指す。また，中国語学研究においては，共時的研究や通時的研究を通して中国語を多角的・体系的に把握し，中国語のありようを解明することを目指す。
日本語教育学	教育の素材となる日本語そのものを運用及び構造の二側面から追究する。また，様々な日本語教授法の背景をなす理論，日本語習得に関わる種々の要因を検討し，理論面，実践面から日本語教育のあり方を追究していく。
英語教育学	英語教育学・第二言語習得論・心理言語学に関わる理論と研究方法を学ぶことで，外国語（第二言語）としての英語の習得及び教育についての知識と理解を深める。
応用日本語学	日本語学・日本語教育方法論・日本文化論の体系的な知識を身に付け，各分野の専門的な研究を行うとともに，日本語教育へ応用する力，日本語教育を実践する力を身に付ける。

哲学倫理学コース

分野・専門名	内容
哲学	古代ギリシアから現代にいたる哲学の歴史，及びそれに立脚した哲学理論を，西洋を中心にしつつ日本の思想・哲学をも含め，形而上学，自然科学，認識，論理，言語，倫理，宗教，政治，人類学等々の各分野にわたる原典読解や二次文献・研究文献の読解を通して，総合的に理解する。
西洋古典学	西洋古典文学，西洋古典語学，ギリシア・ローマ神話学，ギリシア・ローマ宗教学。古典古代の個々のテキストの正確な読解を通して，古代ギリシア・ローマの文化と社会の正しく深い理解を追究し，西洋文明や人間の本質を考える。
中国哲学	漢語原典の正確な読解を踏まえた上で，中国本土ならびに近隣の東アジア漢字文化圏の学術思想・宗教・精神文化を対象にした，研究と教育を目指す。
インド哲学	インド亜大陸における学術思想・宗教・文学・伝統文法学などの原典を広く分析することにより，アジアの基層文化を探求すると同時に人間の本質の理解をもめざす。

歴史文化系学位プログラム

歴史学・人類学コース

分野・専門名	内容
日本史学	古代～近現代史にいたる、日本史上のさまざまな課題について、文献史料に基づいて実証的に分析し、過去の人間の営みを解明することを目指す。史料の調査にあたり、フィールドワークを重視する。
東洋史学	アジア諸地域の歴史を対象とし、現地言語をはじめとする外国語文献を十分に利用しつつ、実証的な研究を進め、多様なアジア世界の諸相につき、より正確な理解を目指す。
西洋史学	古代～近現代にいたる、西洋史上のさまざまな課題について、伝統的な歴史学の方法論を基礎としながらも、文書史料だけではなく表象や記憶、物質文化などに関わる多様な史資料を分析・総合することで、西洋世界の重層的な歴史を読み解くことを目指す。
美学美術史学	日本・東洋・西洋の美術作品を、方法論を踏まえて実証的に分析し、美術の歴史を体系的に構築する。また、美術作品を起点としつつ、人間が生み出した視覚文化の諸相について歴史的意義を明らかにする。
考古学	遺跡・遺物の実証的研究に基づき社会や文化を解明し、人類史の再構成を目指す。遺跡を発掘し、出土した遺物を分析して考古学的事実を正確に把握するとともに、それらを深く掘り下げて新しい歴史像を再構築する。
文化人類学	日本及び世界の多様な社会と文化、思想をフィールドワークと民族誌、資史料にもとづいて精緻に理解するとともに、文化人類学の歴史と理論をふまえ、人類史的な比較の視点から人間の本質の解明を目指す。

総合文化学コース

分野・専門名	内容
映像学	映像の生産、流通、上映、表象、受容に関わる多様な側面を、歴史的・社会的・政治的・経済的・文化的・テクノロジー的・エコロジー的文脈を視野に入れながら、実証的・理論的に研究する。
日本文化学	文化・文学・批評に関する理論を把握したうえで、地域や学問領域をまたいで多角的に日本文化を捉え直す。とりわけ東アジア地域の関係性の中において、古代から近現代に至る日本文化の姿を捉え直す。
文化動態学	越境、移動、再編など動的過程にある移民やマイノリティなどに関する領域横断・複合型の教育と研究を目指す。超領域的・多角的なアプローチにより、超国家的なシステムとグローバリゼーションがもたらす社会や文化の変動・変容を分析する。

分野・専門名	内容
ジェンダー学	フェミニズム，ジェンダー，セクシュアリティに関する研究を基盤として，文学，思想，文化，メディア，経済，社会における事象と表象を学際的に検証する。それを通じて，社会の既成概念にとらわれない人材の育成と研究成果の社会的還元を目指す。

英語高度専門職業人学位プログラム

英語高度専門職業人コース

英語教員，翻訳者，通訳者，国際関係部署で活躍する人材といった英語スペシャリストに必要な英語の知識と運用能力を習得させるとともに，英語圏の言語文化を多角的に分析・批評できる能力を養成する。

多文化共生系学位プログラム

国際・地域共生促進コース

国際社会や地域社会のなかで，グローバル現象と関連した多言語多文化状況が引き起こす諸課題を考察し，問題の解決に結びつけると同時に異文化がふれあうことで社会や文化が活性化する方策を提言できるような実践力を身につけたコーディネーターを育成する。

指導可能領域

言語文化系学位プログラム

文芸言語学コース

分野・専門名	内容
言語学	音声学，音韻論，形態論，統語論，意味論，語用論，言語類型論，歴史言語学，社会言語学，対照言語学（例：日韓・日中・日英語の対照），認知・機能言語学，フィールド言語学，文法化研究，言語接触研究。なお，特定の個別言語（例：日本語，朝鮮韓国語，トルコ語，フィンランド語）の研究であっても複数の言語を対象とした研究であっても可。
日本語学	日本語学及び日本語史の諸領域（音声学，音韻論，形態論，統語論，意味論，語用論，文字・表記，文章・文体），日本語学史，日本語資料論
日本文学	古代から中世，近世に至る古典文学の諸作品及び作家についての研究。特に王朝物語，近世小説，和歌，俳諧など。書誌学及び出版文化史。古典文学や書物文化研究をふまえた近現代文学研究。
英語学	英語学の諸領域（統語論，意味論，音韻論，形態論，語用論，書記体系論，英語史），生成文法，概念意味論，認知意味論，歴史言語学，日英対照言語学，コーパス研究
英米文学	英語圏文学，イギリス小説，英詩，シェイクスピアを含むイギリス演劇，イギリス社会史・文化史，英米児童文学，アメリカ小説，アメリカ詩，アメリカ演劇，アメリカ文化史，文学批評理論，トランスレーション・スタディーズ
ドイツ語 ドイツ文学	ドイツ語文学，ドイツ語学，ドイツ語詩，物語論，スイス戦後文学，フロイト研究，文学と舞踊，舞踊史，身体文化研究，世紀転換期の芸術，音楽哲学，前衛芸術論，記憶論，翻訳論，文学批評理論
フランス語 フランス文学 (第1)	フランス文学史，フランス語圏の詩・小説・演劇，フランス文化史，フランス批評理論，フランス近・現代思想，比較文学，比較思想，フランス語学の諸領域（統語論，意味論，音韻論，形態論，語彙論，語用論，フランス語史），コーパス言語学，日仏対照言語学，フランス語教授法（2018年度時点での現状です。年度末に2名の教員が退職し，2019年度からは，新たに日本人とフランス語ネイティブの教員が加わります。出願前に文系教務課内 人文学研究科入試担当までお問い合わせください。）
フランス語 フランス文学 (第2)	フランス語圏文学，16世紀～現代の小説・詩・戯曲，文学と美術批評，文学と芸術（美術，音楽，映画），文学と宗教，比較文学，フランス文化史，フランス語研究，文体論，テキスト言語学，テキスト理論，テキスト生成研究

分野・専門名	内容
中国語中国文学	現代中国語学，中国古典語学，中国語教育，日中対照言語学，中国近現代文学，中国古典文学（文言，白話），日中比較文学，日本漢文学
日本語教育学	日本語教授法，外国語教授法，日本語習得研究，談話分析・会話分析，言語の認知処理，テスト理論と因果関係分析，現代日本語の意味・文法研究，日本語の誤用分析，日本語と他言語の対照研究，日本語の語彙・文法教育，コーパス研究，心理言語学
英語教育学	英語教育学・第二言語習得論の諸領域（英語教授法，英語教材論，英語コミュニケーション論，第二言語習得論，英語教育工学，言語教育科学，言語評価論）および心理言語学・バイリンガリズム・批判的言説分析
応用日本語学	(1) 日本語学及び関連領域：文法論（記述文法，認知文法，日本語教育のための文法研究），語彙論（共時的研究，通時的研究），意味論（意味論一般，認知意味論），日韓対照研究 (2) 日本語教育方法論及び関連領域：日本語教育教材論，第二言語運用論，接触場面の研究，談話分析，コンピュータ支援教育方法論，日本語CALL 教材開発，言語運用に対する評価，学習ストラテジー論，自己調整学習 (3) 日本文化論及び関連領域：文化人類学・民俗学，日韓比較文化論，在日朝鮮人文学

哲学倫理学コース

分野・専門名	内容
哲学	哲学・哲学史と倫理学・倫理学史の全領域。具体的には，古代ギリシア哲学，中世哲学，近世哲学（英・独・仏），現代哲学（英米・独・仏），現象学，日本哲学・思想史，形而上学，科学哲学，認識論，認知哲学，こころの哲学，言語哲学，論理学，メタ倫理学，応用倫理学（医学倫理，工学倫理等），政治哲学など。
西洋古典学	ギリシア・ローマの叙事詩，悲劇，喜劇，抒情詩，散文，神話，宗教。古典ギリシア語，古典ラテン語
中国哲学	儒学，経学，諸子百家，漢唐訓詁学，朱子学，尚書学，清朝考証学，日本漢学
インド哲学	インド言語哲学，インド論理学，六派哲学，インド仏教，パーニニ文法学，サンスクリット文学

歴史文化系学位プログラム

歴史学・人類学コース

分野・専門名	内容
日本史学	古代史・中世史・近世史・近現代史
東洋史学	日本を除くアジア諸地域に関する歴史的視点にもとづく研究，特に中国古代史・中世史・近世史・近現代史及び中国民族史，東南アジア史など。
西洋史学	古代地中海文明史，ヨーロッパ中世史，ヨーロッパ近現代史，アメリカ史，比較史，文化交流史
美学美術史学	西洋美術史，日本美術史，東洋美術史（特に中国絵画史を中心とする）
考古学	先史考古学，歴史考古学，日本考古学，北中米考古学
文化人類学	文化人類学の諸領域（文化人類学，社会人類学，宗教人類学，芸術人類学，構造人類学，医療人類学，観光人類学，開発人類学，応用人類学，人類学史），物質文化研究，民族芸術学，アフリカ民族学，東南アジア民族学，民俗学，民俗芸能研究，日本芸能史，日本思想史，宗教テキスト研究，宗教学，アーカイヴス研究

総合文化学コース

分野・専門名	内容
映像学	映像批評理論，映画史，各国・地域映画（とくに東アジア映画），初期映画，越境映画，合作映画，インディペンダント映画，映像文化（ジェンダー，エスニシティ，モダニティ，記憶，エコロジーなど），ジャンル（ドキュメンタリー，アニメーションを含む），作家，演技，スター，映画祭，観客，メディア産業，検閲，プロパガンダ，トランスメディア，デジタル映像，映像アーカイヴ，映像教育，テレビ，写真
日本文化学	日本近現代文化論，日本近現代文学論，アジアの中の日本文化論，文化受容論，表象文化論，比較文学文化論，詩論，文学理論，批評理論
文化動態学	社会学，比較文化史，マイノリティ研究，移民研究，ディアスポラ論，国際社会学，音楽社会学，ポピュラーカルチャー論，ナショナリズム／トランスナショナリズム研究，日系人研究，ヨーロッパ地域研究，中国地域研究，ラテンアメリカ地域研究，スペイン語とポルトガル語の比較研究，スペイン語研究，比較文学
ジェンダー学	フェミニスト批評・理論，クィア批評・理論，アメリカ文学，中国・台湾文学，中国・台湾女性史，台湾映画，中国近現代舞踊史，ポピュラーカルチャー，サブカルチャー，（文化）記号論，メディア文化論（広告・女性誌），コノテーション論，映像・視覚文化，インターネット社会論，メディア・コミュニケーション論，メディア社会心理学，若者論，スポーツ，経済，労働，社会政策・制度，フェミニスト経済学

英語高度専門職業人学位プログラム

英語高度専門職業人コース

英語圏文学，英語圏文化，英語教育学，翻訳技術，トランスレーション・スタディーズ，通訳技術，英語教材開発

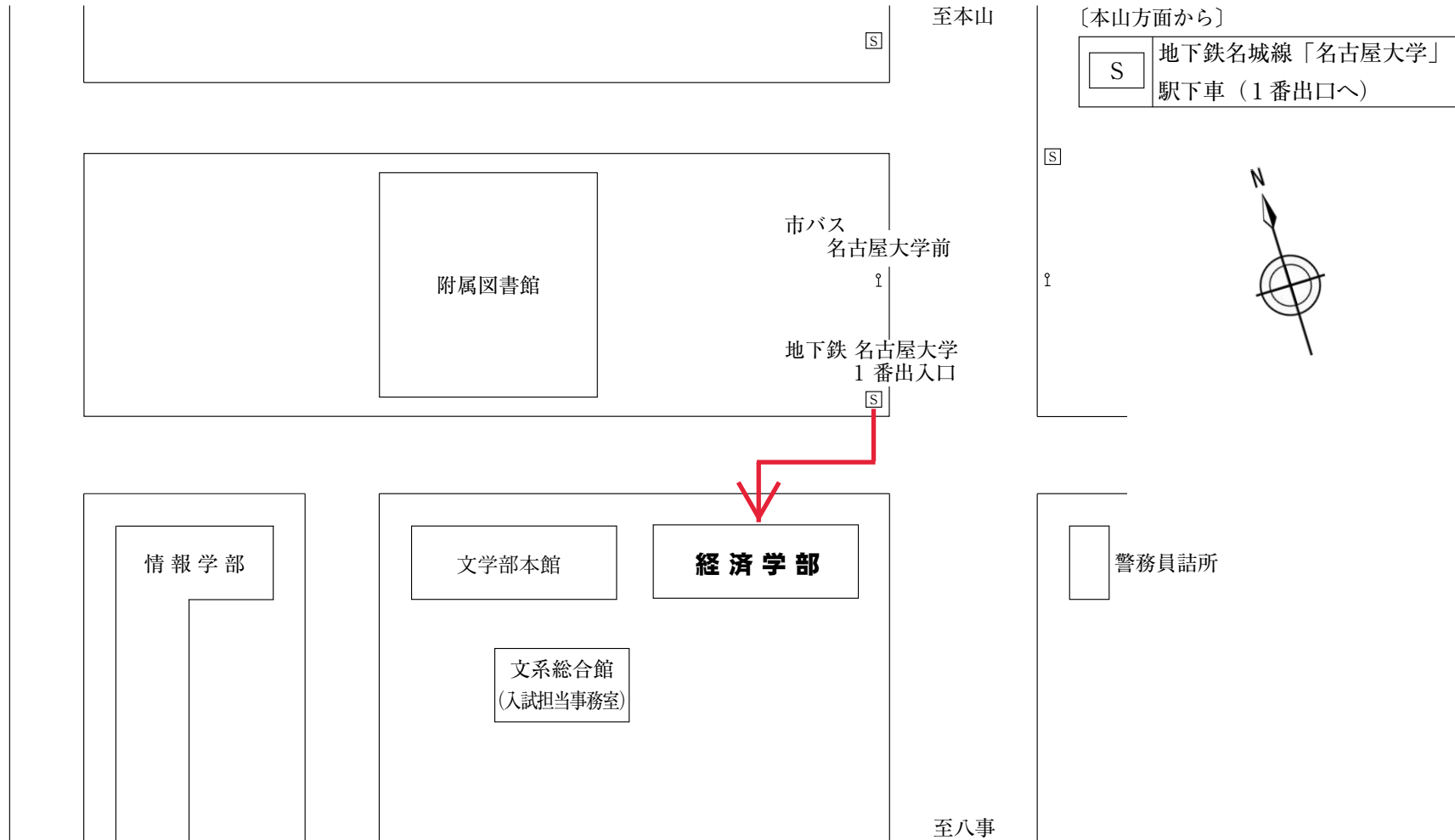
多文化共生系学位プログラム

国際・地域共生促進コース

本プログラムでは文化人類学，日本文化学，文化動態学，ジェンダー学，応用日本語学の5分野の教員が指導をする。人文系の異分野が横断的に融合したプログラムを提供するため多角的な指導が可能である。

国際社会学，移民・難民研究，多言語多文化主義，グローバル社会共生論，地域国際化・共生問題，ジェンダーと共生社会，社会調査方法論，アジアの社会と文化，在日外国人，日系移民の文化，地域における日本語教育，国際交流など。

名古屋大学大学院人文学研究科 試験場配置図



2019 年度人文学研究科博士前期課程【一般入試・社会人入試】試験科目

プログラム	コース	分野・専門	期日・時間		
			2月 13 日 (水)		2月 14 日 (木)
			10:00~11:00	13:00~15:00	時間は別途指定する。
			外国語試験【一般入試のみ】	専門試験	口述試験
言語文化系学位プログラム	文芸言語学コース	言語学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から	言語学の基本的概念・用語を正しく理解し、それらの概念・用語を用いて言語事象を適切に説明できるかを問う論述問題	分野・専門別に行う。
		日本語学	<u>1 外国語を出願時に選択する。</u> ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	日本語学、古文解釈、日本語資料解説（上代から近現代に至るまでの日本語史、日本語学史資料についての基礎的知識を問う。）	
		日本文学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語、日本語の中から母語を除く 1 外国語を出願時に選択する。	日本の古典文学評釈（写本あるいは版本の読解を含む。）、日本文学史についての基礎学力を問う。【一般入試のみ】日本語を母語としない者については、「写本あるいは版本の読解」を課さない。	
		英語学	英語	(1) 専門英文の日本語訳 (2) 生成文法を中心とする一般言語理論 （統語論・意味論等に関する用語解説と具体例についての論述）、 英語史 （用語解説と文法の史的変化についての論述）の中から 1 つを出願時に選択する。	
		英米文学	英語	英文評釈、英米文学史、英作文（英文評釈では、英米文学作品のテキスト分析力及び英米文化の理解度を問う。）	
		ドイツ語 ドイツ文学	ドイツ語	(1) 独文解釈 ドイツ語の読解力を問う。 (2) 独文学史、独語学、ドイツ語作文 の中から 1 つを出願時に選択する。 ドイツ語圏の文学・文化についての基礎的な知識、ドイツ語に関する知識、ドイツ語による表現力を問う。	
		フランス語 フランス文学 (第1)	フランス語	フランス語圏の文学、思想、言語、文化に関する 複数の設問の中から 2 つを解答時に選択する （論述問題）。	
		フランス語 フランス文学 (第2)		(1) 仏文解釈（フランス語の読解力とフランス語圏文化の理解度を問う。） (2) 仏文学史、仏語学、仏作文 の中から 1 つを出願時に選択する。フランス語圏の文学、語学ないしは文化全般の専門に応じた基礎的知識を問う。	
中国語中国文学	中国語、英語 の中から 1 外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	(1) 中国語学、中国文学に関する基礎知識を問う問題 (2) 中国語学、中国文学に関する専門知識を問う問題（現代中国語・中国古典語・近現代中国文学・中国古典文学などについての論述、文献の読解などから 2 つを解答時に選択する。）			

- 注 1 **表中の太字**は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を入学志願票、選択科目チェック表及び受験票に記載してください。
 2 外国語試験、専門試験および専門英語試験は辞書の持ち込みはできません。

2019 年度人文学研究科博士前期課程【一般入試・社会人入試】試験科目

プログラム	コース	分野・専門	期日・時間		
			2月 13 日 (水)		2月 14 日 (木)
			10:00~11:00	13:00~15:00	時間は別途指定する。
			外国語試験【一般入試のみ】	専門試験	口述試験
言語文化系学位プログラム	文芸言語学コース	日本語教育学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, ポルトガル語, 朝鮮・韓国語, 日本語の中から母語を除く1外国語を出願時に選択する。	日本語学や日本語教育に関する諸領域の知識を問う問題。	分野・専門別に行う。
		英語教育学	英語	(1) 英語教育学に関する理論や研究方法論などの専門知識を問う問題。 (2) 英語教育学に関する英語の文献を読み解き, 解釈する力を問う問題。	
		応用日本語学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, ポルトガル語, 朝鮮・韓国語, 日本語の中から母語を除く1外国語を出願時に選択する。	以下の3つの中から1つを出願時に選択する。 (1) 日本語学 (意味・文法・語彙等) (2) 日本語教育方法論 (教育方法, 教材開発, 第二言語運用等) (3) 日本文化論 (日本の社会と文化に対する理解)	
	哲学倫理学コース	哲学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, ポルトガル語, 朝鮮・韓国語の中から1外国語を出願時に選択する。 ただし, 日本語を母語としない者は英語とする。	(1) 英語, ドイツ語, フランス語, ギリシア語, ラテン語の中から2外国語を出願時に選択する。(古典語選択時のみ辞書を当方で用意する)【社会人入試のみ】すべての外国語の辞書を当方で用意する。 (2) 哲学の理解度を問う専門問題	
		西洋古典学		(1) 西洋古典学 (西洋古典についての基本的知識) (2) 専門英文の読解 (3) 西洋古典語 (ギリシア語, ラテン語の中から1外国語を出願時に選択する。古典語の辞書を当方で用意する。)	
		中国哲学 インド哲学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, スペイン語, ポルトガル語, 朝鮮・韓国語の中から1外国語を出願時に選択する。 ただし, 日本語を母語としない者は日本語とする。	中国哲学史全般に関する知識を問う論述問題, 原典資料解説 (1) サンスクリット語初級 (サンスクリット語・英語辞書を当方で用意する。) (2) インド思想史に関する論述	
歴史文化系学位プログラム	歴史学・人類学コース	日本史学		(1) 日本史学の基本的な内容に関する論述試験 (2) 史料解説 ((1)・(2) は複数の小問から構成され, 解答時に指示に従って選択する。)	分野・専門別に行う。
		東洋史学	(1) 中国地域を研究対象とする者: 中国語 (2) 中国以外のアジア地域を研究対象とする者: 英語 ただし, 日本語を母語としない者は日本語とする。	(1) 東洋史学 (アジア史) の基本的な内容に関する論述試験 (2) 中国地域を研究対象とする者: 漢文文献解説 中国以外のアジア地域を研究対象とする者: 英語文献解説 ※ (2) の選択については出願時に選択する。	

注 1 表中の太字は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を入学志願票、選択科目チェック表及び受験票に記載してください。
2 外国語試験、専門試験および専門英語試験は辞書の持ち込みはできません。

2019 年度人文学研究科博士前期課程【一般入試・社会人入試】試験科目

プログラム	コース	分野・専門	期日・時間			
			2月 13 日 (水)		2月 14 日 (木)	
			10:00~11:00	13:00~15:00	時間は別途指定する。	
			外国語試験【一般入試のみ】	専門試験	口述試験	
歴史文化系学位プログラム	歴史学・人類学コース	西洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から1外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は英語とする。	(1) 西洋史学（西洋史学についての基礎的な学力を問う、日本語による小論文） (2) 外国語（外国語による研究文献の読解力を問う。英語、ドイツ語、フランス語の中から2外国語を出願時に選択する。）	分野・専門別に行う。	
		美学美術史学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から母語を除く1外国語を出願時に選択する。	(1) 日本・東洋・西洋の美術に関する知識を問う問題（論述式） (2) 専門に関する外国語文献の日本語訳（英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、漢文の中から2外国語を出願時に選択する。）		
		考古学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から1外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	考古学の学史や方法論、遺跡・遺構・遺物についての基礎的知識を問う論述問題		※考古学は口述試験の時に実技試験も課すので実測用具を持参すること。
		文化人類学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から1外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	文化人類学・日本思想史の各分野で研究するために必要な基本的知識と問題意識、和文／英文の読解能力、分析能力を問う自由論述問題		分野・専門別に行う。
	総合文化学コース	映像学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から自分の関心・研究と最も関連の深い1外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	(1) 映像批評理論、映像分析方法論、映画史に関する論述問題 (2) 映像批評理論、映像分析方法論、映画史に関する英文読解問題		
		日本文化学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から自分の関心・研究と最も関連の深い1外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	(1) 日本文化学に関する文献解読 (2) 日本文化学に関する論述問題		
		文化動態学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から自分の関心・研究と最も関連の深い1外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	世界における人の移動、社会・文化の変動・変容に関連する知識を問う論述問題（問題は解答時に選択する。）		
		ジェンダー学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から1外国語を出願時に選択する。 ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	フェミニズム、ジェンダー、セクシュアリティに関する、主として論理的思考力を問う論述問題を複数出題する。		

注 1 表中の太字は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を入学志願票、選択科目チェック表及び受験票に記載してください。
2 外国語試験、専門試験および専門英語試験は辞書の持ち込みはできません。

2019 年度人文学研究科博士前期課程 **【一般入試・社会人入試】** 試験科目

プログラム	コース	期日 ・ 時間		
		2月 13 日 (水)	2月 14 日 (木)	
		13:00～15:00	時間は別途指定する。	
		専門英語試験	口述試験	
英語高度専門職業人 学位プログラム	英語高度専門職業人コース	他の学位プログラムの外国語試験と異なる専門の英語試験を実施する。		コースで行う。

プログラム	コース	期日 ・ 時間		
		2月 13 日 (水)	2月 14 日 (木)	
		10:00～11:00	13:00～15:00	
		外国語試験 【一般入試のみ】	専門試験	口述試験
多文化共生系学位 プログラム	国際・地域共生促進コース	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、 スペイン語、ポルトガル語、朝鮮・韓国語の中から <u>1 外国語を出願時に選択する。</u> ただし、日本語を母語としない者は日本語とする。	国際社会や地域社会における多文化共生に関わる諸問題を問う論 述問題（問題は解答時に選択する。）	コースで行う。

- 注 1 **表中の太字**は選択科目です。受験する外国語試験及び専門試験（出願時に選択する場合のみ）を入学志願票、選択科目チェック表及び受験票に記載してください。
 2 外国語試験，専門試験および専門英語試験は辞書の持ち込みはできません。

出願資格の事前審査等について

◇出願資格（4）により出願する者の事前審査について

1．事前審査

出願資格（4）により出願する者は、次の書類を**2018年11月22日（木）までに**、文系教務課内 人文学研究科入試担当へ提出又は郵送し（書留で封筒の表に「出願資格（4）の事前審査」と朱書）、出願資格の有無について事前審査を受けてください。

- ① 履歴書 [様式 1]
 - ② 卒業証明書、卒業見込証明書、学位証明書のいずれか1つ
 - ③ 成績証明書（大学1年次以降の成績が記載されていること）
 - ④ 返信用封筒（住所、氏名を明記した長形3号（12cm×23cm）のもの（82円切手貼付））
- 提出書類に基づいて、事前審査を実施し、その結果を2018年12月12日（水）までに本人宛通知します。

2．事前審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に提出してください。

なお、事前審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておいてください。

◇出願資格（9）により出願する者の個別審査について

1．個別審査

出願資格（9）により出願する者は、次の書類を**2018年11月22日（木）までに**、文系教務課内 人文学研究科入試担当へ提出又は郵送し（書留で封筒の表に「出願資格（9）の個別審査」と朱書）、出願資格の有無について個別審査を受けてください。

- ① 出願資格審査願 [様式 2]
 - ② 出願を希望する分野・専門に関して [様式 3]
 - ③ 高等学校等の卒業等以後の学歴を証明する書類
（卒業証明書、退学証明書、在学期間証明書等のいずれか1つ）
 - ④ ③における成績証明書
 - ⑤ 返信用封筒（住所、氏名を明記した長形3号（12cm×23cm）のもの（82円切手貼付））
- 提出書類に基づいて、個別審査を実施し、その結果を2018年12月12日（水）までに本人宛通知します。

2．個別審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に提出してください。

なお、個別審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておいてください。

出願資格の事前審査等についての連絡先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4(700)

名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

e-mail: hum@adm.nagoya-u.ac.jp

※出願資格の(4)に該当する者は、文系教務課内 人文学研究科入試担当あてに2018年11月22日(木)までに
本履歴書を提出してください。

履 歴 書

(Curriculum Vitae)

ひらがな(Hiragana) 氏 名 Name in block letters	_____ Family Name First Name Middle Name	性別 Sex	男・女 M F
生年月日 Date of Birth	____年__月__日 Year Month Day	国 籍 Nationality	志望分野・専門名 Proposed Field of Study
本国の住所 Address in Home Country	(Tel) _____		
現 住 所 Present Address	(Tel) _____		
日 付 Dates	年 数 Amount of Time	学 歴 School Career	
(Year Month Day) ____年__月__日	(Years Months) ____年__月	Entrance	小学校入学 Primary/Elementary School
____年__月__日	____年__月	Graduation	小学校卒業 Primary/Elementary School
____年__月__日	____年__月	Entrance	中学校入学 Junior High School
____年__月__日	____年__月	Graduation	中学校卒業 Junior High School
____年__月__日	____年__月	Entrance	高等学校入学 Senior High School
____年__月__日	____年__月	Graduation	高等学校卒業 Senior High School
____年__月__日	____年__月	Entrance	大学 学部入学 University, Faculty of
____年__月__日	____年__月	Graduation	大学 学部卒業 University, Faculty of
____年__月__日	____年__月	Entrance	大学院 修士課程入学 Postgraduate Master's Course
____年__月__日	____年__月	Completion	大学院 修士課程修了 Postgraduate Master's Course
____年__月__日	____年__月	現況(研究生等) Present Position (e.g. Research Student)	
教育年数計 Total	____年__月		
期間 Period	職 歴 Occupational Career		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
上記のとおり相違ありません I affirm the above to be true.	申請者署名 Applicant's Signature _____		
申請年月日 Date of Application ____年__月__日 Year Month Day	氏 名 Name in block letters _____		

－ 注 意 事 項 Precautions －

- (1)黒インクまたは黒のボールペンで書いてください。 Write in black ink or black ball point pen.
- (2)活字体を用いてください。 Use block letters.
- (3)固有名詞は省略しないでください。 Do not abbreviate proper nouns.
- (4)記入欄が足りない場合は、別紙(A4版横書)に記入し本紙とともに提出してください。 If there is insufficient space on the form, please use a separate sheet of A4 size paper and submit it together with this application form.

※ 募集要項に記載されている「出願資格」の(9)で出願しようとする者のみ、文系教務課内
人文学研究科入試担当あてに2018年11月22日(木)必着で提出してください。

出 願 資 格 審 査 願

- ひらがな
1. 氏 名 (男 ・ 女)
2. 生年月日 年 月 日生(満 歳)
3. 連絡先(現住所)
 (〒 -)
-
携帯 - - 自宅() -
4. 国籍・在留資格(外国人の場合のみ)
5. 学歴及び現在の身分
 <学歴>
 年 月 小学校入学
 年 月 小学校卒業 (年間)
 年 月 中学校入学
 年 月 中学校卒業 (年間)
 年 月 高等学校入学
 年 月 高等学校卒業 (年間)
 年 月
 年 月 (年間)
 年 月
 年 月 (年間)
 <現在の身分>()
6. 出願予定の分野・専門名
.....

※フランス語フランス文学については、第1、第2の別についても記載してください。

次ページ[様式3]に、あなたが出願を希望する分野・専門に関して、これまでに学習したこと、これから研究したいテーマを800字以内で書いてください。(Word等により作成した文書を印刷し、[様式3]に切り貼りすることもできます。)

2018年9月発行

名古屋大学文系教務課内人文学研究科 入試担当

〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-4(700)

e-mail: hum@adm.nagoya-u.ac.jp

(メールでの出願はできません。)